

# 法人向け Adobe Creative Cloud グループ版の Total Economic Impact™

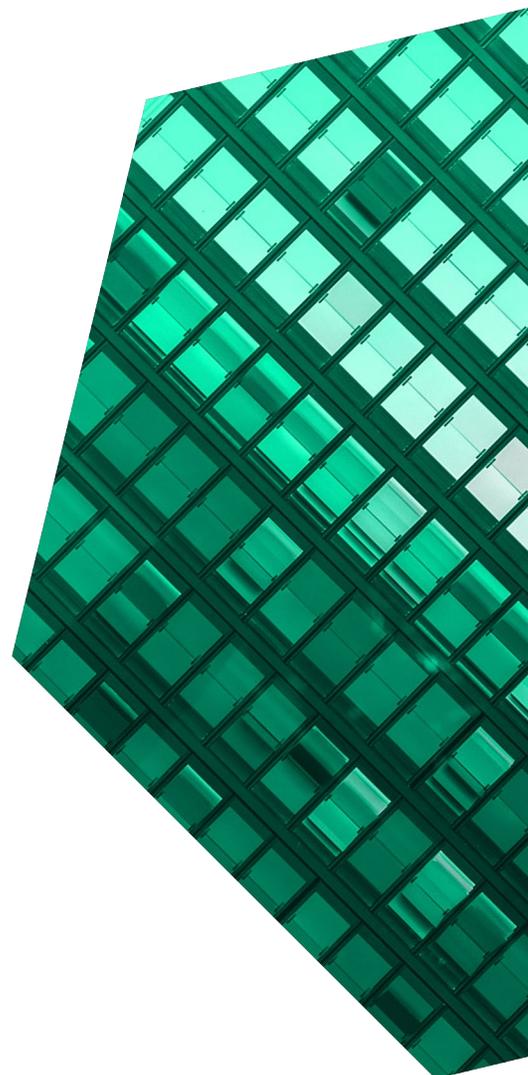
法人向け Creative Cloud グループ版が  
可能にする経費削減およびビジネス上の利点

2021 年 10 月

# 目次

コンサルティングチーム: Corey McNair  
Brendan Ng

|  |    |
|--|----|
| エグゼクティブサマリー .....                                    | 1  |
| 法人向け Adobe Creative Cloud グループ版の<br>カスタマージャーニー ..... | 6  |
| 主な課題 .....   | 6  |
| 投資目的 .....   | 6  |
| モデル組織 .....  | 6  |
| 利益の分析 .....  | 8  |
| Creative Cloud グループ版による管理効率 .....                    | 8  |
| Creative Cloud グループ版による制作業務の生産性 .....                | 10 |
| Creative Cloud グループ版による事務効率 .....                    | 12 |
| 非定量的利益 .....   | 14 |
| 柔軟性 .....  | 15 |
| コストの分析 .....   | 16 |
| Creative Cloud グループ版ライセンス料金 .....                    | 16 |
| Creative Cloud グループ版への<br>ファイル変換/移行コスト .....         | 17 |
| 財務概要 .....   | 18 |
| 付録 A: Total Economic Impact .....                    | 19 |
| 付録 B: インタビュー調査およびアンケート調査の<br>統計データ .....             | 20 |
| 付録 C: 注釈 .....                                       | 21 |



## FORRESTER CONSULTING について

Forrester Consulting は企業リーダーがその組織を成功に導けるよう、独立し客観的なリサーチベースのコンサルティングを提供しています。詳細については、[forrester.com/consulting](https://forrester.com/consulting) をご覧ください。

© Forrester Research, Inc. All rights reserved. 本書を無断で複製することは固く禁じられています。本書の内容は、最適な情報源に基づいています。ここに記した見解は調査時点でのものであり、最新の情報とは異なる場合があります。Forrester®、Technographics®、Forrester Wave、RoleView、TechRadar および Total Economic Impact は Forrester Research, Inc. の商標です。その他の商標の所有権は各所有者に帰属します。

## エグゼクティブサマリー

過去十年間にわたり、多様な機能を搭載したプレミアム価格モデルのデジタル制作アプリケーションが増加しています。これらのアプリは、多くの場合予算が限定される中小企業をターゲットとしています。これらのアプリは有利に見えても、実際は断片的なツールセットの管理に多くの業務が発生しがちです。統合制作ソリューションの採用によって、企業は作業環境を合理化し、ライセンス費をより正確に予測し、チームの連携とコラボレーションを強化できるようになります。

法人向け [Adobe Creative Cloud グループ版](#)は、今日最も広く使われるデジタル制作ツールを含む統合制作ソリューションです。<sup>1</sup> 主なアプリ:

- Adobe Photoshop
- Adobe InDesign
- Adobe Illustrator
- Adobe Premiere Pro
- Adobe XD
- Adobe Acrobat

Creative Cloud グループ版には、数多くの Adobe フォントと、無料または有料の Adobe Stock アセットが含まれています。合理化されたワークフローでプラグインと統合を利用でき、Creative Cloud Libraries ではチームで同じプロジェクト要素にアクセスできます。

Adobe は Forrester Consulting に委託して Total Economic Impact™ (TEI) 調査を実施し、法人向け Adobe Creative Cloud グループ版<sup>2</sup>の導入により中小企業が実現し得る投資収益率 (ROI) を調査しました。本調査の目的は、Creative Cloud グループ版が組織にもたらし得る経済的影響を評価するフレームワークを提供することです。

この投資に関連する利益、コストおよびリスクをよりよく理解するために、Forrester は、現在 Creative Cloud アプリケーションおよびサービスを使用する 5 つの中小企業の 7 人の意志決定者に対して電話による詳細なインタビューを行い、132 人の個人 (管理者、マネージャー、プロダクト所有者およびユーザー) に対してアンケート調査を行いました。Forrester はこの調査のため、Forrester はインタビューおよびアンケート調査

### 経済的影響の合計



投資収益率 (ROI)

**388%**



正味現在価値 (NPV)

**\$501K (¥5,600 万)**

を受けた個人や企業の回答を集計し、財務分析のベースラインとなる結果を 1 つの [モデル組織](#) の回答としてまとめました。

Creative Cloud ライセンス契約以前は、回答者の組織は個別の Adobe アプリライセンスと、様々なサードパーティ製制作アプリを利用していました。アプリは、多くの場合チーム間で整合性が取れず、管理者はアプリケーションのバージョンが最新かどうかの確認に苦勞していました。管理者はライセンスアクセス権限があるユーザーの管理、ツール間の統合不足でも問題を抱え、技術的なトラブルが頻繁に発生していました。

プロジェクトのスケジュールには、これらの障害対応の時間やリソースが組み込まれ、会社にとっては負担となっていました。そのため、回答者の組織は、一貫した稼働プロセスを促進し、かつライセンス管理作業の時間を短縮する、統合された制作ソフトウェアソリューションを求めていました。

組織は、フルラインアップのアプリとサービスへのアクセスを提供する Creative Cloud ライセンスを選択しました。決定に至った重要な要素は、Adobe アプリの統合ソフトウェアスイートによって、制作者がプロジェクトをエンドツーエンドで完了し、サードパーティ製アプリへの依存度を下げることを完全に実現できるという点でした。さらにクラウドストレージはプロジェクトチーム

のメンバー間のシームレスなやり取りを可能にし、プロジェクトファイルへの共有アクセスによるリモートワークを支援し、従業員体験を改善しました。Creative Cloud グループ版に移行して以来、回答者の組織は、コラボレーション機能とアプリの統合 (Adobe およびサードパーティ製アプリの両方) を通して制作業務が加速されました。

単一の契約を管理することで経費が予測でき、制作アプリのコスト効率が向上し、ライセンス管理作業の時間が劇的に短縮されました。

### 主な調査結果

**定量的利益。** リスク調整後の現在価値 (PV) の定量的利益には、以下のようなものがあります。

- **統合された最新の Creative Cloud アプリで、制作アプリ管理が合理化されました。** Creative Cloud グループ版の統合制作プラットフォームの単独契約によって、制作アプリの管理作業が 90% 削減されました。Creative Cloud グループ版のサブスクリプションは、自動的に更新がプッシュされるためチームメンバーに最新のツールへのアクセスを提供しました。
- **Creative Cloud アプリおよび幅広い統合により、チームの取り組みに独創性が加わりました。** Creative Cloud グループ版は個人とチームワークの両方のレベルでおおよそ 5,000 時間分の生産性を加速しました。このソリューションによって、制作者が高品質の成果物をより迅速に作成できるようになりました。その他 Adobe アプリケーションを含め、様々なソリューション (Dropbox Paper、Google Workspace アプリ、Jira Cloud、Microsoft アプリ、Slack など) との統合は、プロジェクトのリアルタイムな共同作業を促進し、制作業務の体系化を支援しました。Creative Cloud Libraries での共有アセットのストレージによって、制作者はブランドアセットやクリエイティブの素材へいつでもアクセスできるため、チームにとってプロジェクトとツール全体で一貫したブランディング維持がより容易になりました。

**「アプリケーションを統合し、従業員のモバイル機器とデスクトップ機器へのアクセスを提供するライセンスがあることで、生産性が増加します。クラウドに属さず管理に多くの時間と労力を要するソリューションを、なぜあえて使用するのでしょうか？」**

*ビデオゲーム会社の IT オペレーションおよびテクニカルサポートマネージャー*

- **単一の制作プラットフォームへの統合でワークフローの効率改善。** 統合ツールセットを使用するチームは、プロジェクトで使用されるサードパーティ製制作アプリに関連した作業量を 1,000 時間以上削減できました。チームは、もはやサードパーティ製アプリを使い分けたり操作を覚えたり、アプリ間で移行できなかったファイルを再フォーマットまたは再作成する必要はなくなりました。Creative Cloud グループ版は、アプリのプロジェクト一貫性を維持し、チームで高品質の成果物を保証しました。

**非定量的利益。** 本調査の非定量的な利益には、以下のようなものがあります。

- **従業員体験の向上。** Creative Cloud グループ版ライセンスを追加したことで、回答者は、会社が従業員のために投資していると感じたと回答しました。前向きな姿勢は成果物の品質向上と、従業員の共同作業でエンゲージメント強化をもたらしました。

- **Creative Cloud による安全なリモートワーク。**主に Creative Cloud グループ版を使用することによって、従業員によるアプリ間のファイル転送のリスクが緩和されました。また、リモートクラウドストレージによって、従業員は保存ファイルの安全性を確保しながらリモートで作業することができました。
- **スキルセットの拡張とチームメンバーの学習を促進。** Creative Cloud アプリおよびサービスの全セットへのアクセスは、スキルセットを拡張し、新しいツールを学習し活用することを従業員に促進しました。

**コスト。**リスク調整後の現在価値(PV)には以下が含まれます:

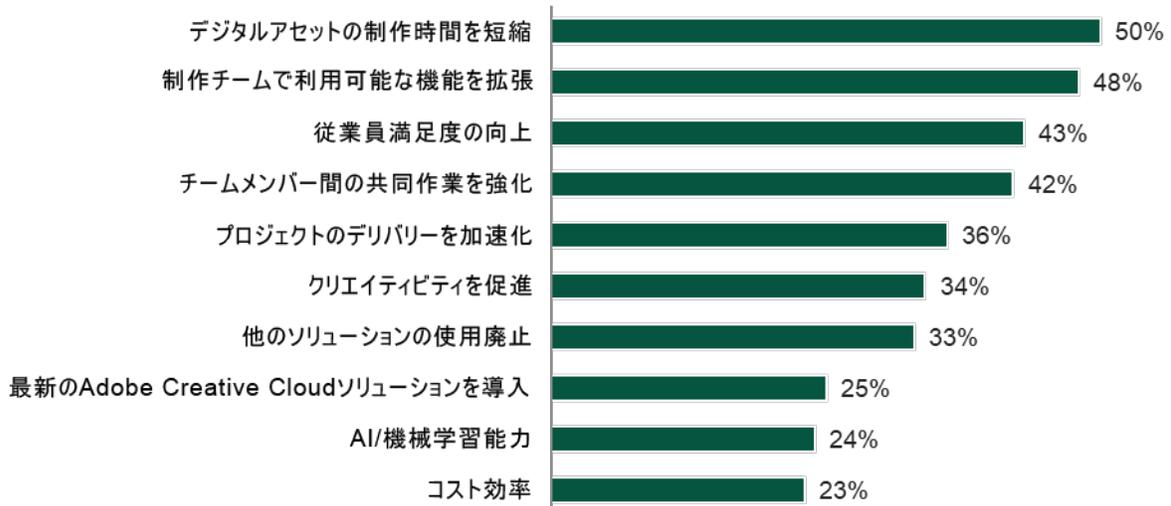
- **Adobe Creative Cloud ライセンスのコスト。**回答者の組織は、すべてのアプリおよびサービスへアクセスするために、Creative Cloud グループ版ライセンスごとに毎月の料金を支払いました。
- **Creative Cloud へのファイル変換/移行。**回答者の組織では、小人数のチームが専属で Adobe 以外のアプリから Creative Cloud グループ版へのファイル変換および移行を行っていました。これらのファイルは今後の業務や別の用途に使用できます。

顧客組織へのインタビュー調査とアンケート調査に基づいた財務分析によると、モデル組織は3年間で12万9,000ドル(1,450万円)のコストに対して63万ドル(7,100万円)の利益を計上し、合計で50万1,000ドル(5,650万円)の正味現在価値(NPV)と388%の投資収益率(ROI)を達成しました。

「チームで Creative Cloud を使用していなければ、個別にソフトウェアのソリューションを見つけなければならなかったでしょう。つまりより多くの人材を管理する必要があったという意味です。プログラム間に一貫性があることで、ニーズ増大を回避できます。」

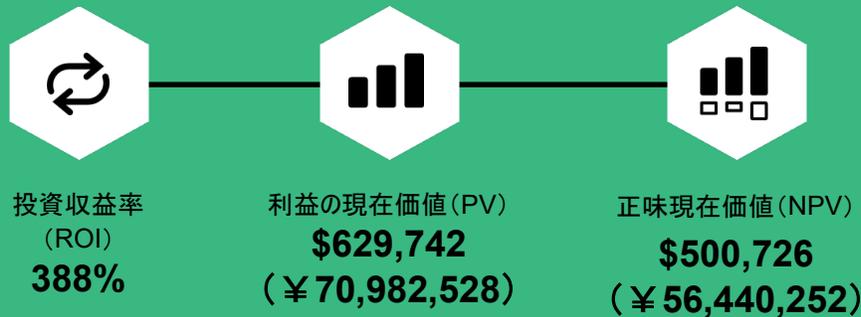
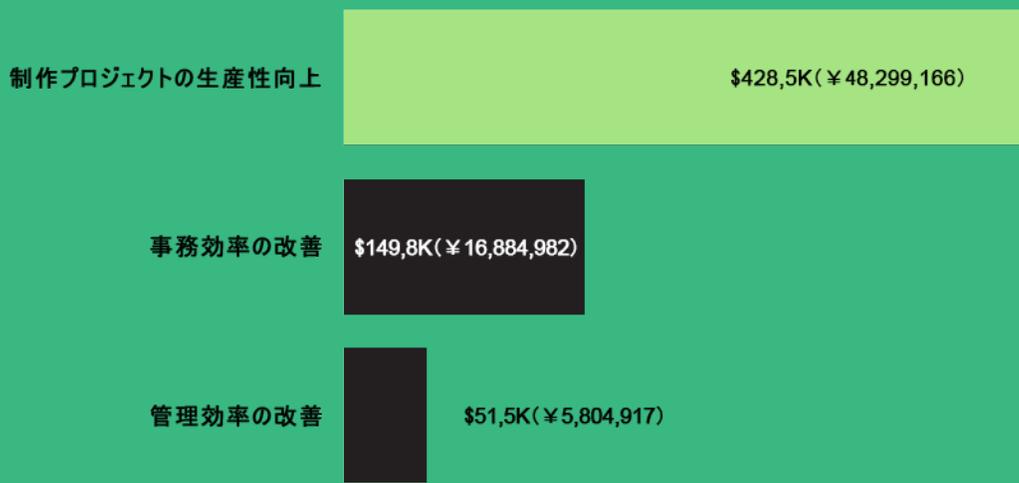
アニメーション会社のエグゼクティブ制作ディレクター

「法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を採用するに至った主な要因は何ですか?」



調査対象: 法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を使用する132人のユーザー  
 出典: 2021年4月に Adobe 社からの委託により Forrester Consulting が実施した中小企業向け Creative Cloud グループ版に関する調査

## 法人向け Adobe Creative Cloud グループ版の利益 (3 年間)



Adobe Creative Cloud ソフトウェアの機能、安定性および互換性を凌ぐものはありません。このアプリケーションは標準を定めます。

—マーケティング会社の制作ディレクター

## TEI のフレームワークと調査手法

インタビューおよびアンケート調査で得られた情報を基に、Forrester は法人向け Adobe Creative Cloud グループ版の導入を検討中の組織のために Total Economic Impact™ (TEI) フレームワークを構築しました。

このフレームワークの目的は、投資の意思決定に影響するコスト、利益、柔軟性、およびリスク要因を特定することです。Forrester は法人向け Adobe Creative Cloud グループ版が組織にもたらし得る影響を、多段階アプローチを使用して評価しました。

### 開示事項

読者は以下の点に注意してください。

本調査は Adobe の依頼により、Forrester Consulting が実施しました。競合分析としての利用を意図するものではありません。

Forrester は、他の組織が受ける潜在的な ROI については一切想定していません。法人向け Adobe Creative Cloud グループ版への投資の妥当性を判断する際には、本調査で提供されているフレームワークに読者自身の予測を適用することを強く推奨します。

Adobe は本調査の報告内容を確認した後、Forrester にフィードバックを提供しました。ただし、本調査の内容と結果については Forrester が編集する権限を有し、Forrester の見解と矛盾する変更や調査の意味を曖昧にする変更は承認していません。

Adobe はインタビューを行う顧客名を提供しましたが、インタビューには参加していません。

Forrester はサードパーティー調査パートナーを使用して二重盲検調査を行いました。



### デューデリジェンス

法人向け Adobe Creative Cloud グループ版に関連するデータを収集するために、Adobe の利害関係者および Forrester のアナリストにインタビューを行いました。



### インタビューおよびアンケート調査

法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を使用する場合のコスト、利点およびリスクに関してデータを得るために、5 つの中小企業の 7 人の意志決定者に電話インタビューを行い、132 人にアンケート調査を実施しました。



### モデル組織

インタビューとアンケート調査に回答した組織の特性に基づいてモデル組織を作成しました。



### 財務モデルのフレームワーク

TEI 手法を用いたインタビューおよびアンケート調査の結果から導かれる典型的な財務モデルを作成し、インタビュー対象組織の課題や懸念に基づいて財務モデルをリスク調整しました。



### 導入事例

TEI の 4 つの基本要素である利益、コスト、柔軟性、およびリスクを採用して投資の影響をモデル化しました。Forrester の TEI 手法は、ROI 分析が高度化していることを考慮して、購入判断の総合的な経済効果を完全に網羅しています。TEI 手法の詳細については付録 A を参照してください。

# 法人向け Adobe Creative Cloud グループ版のカスタマージャーニー

## ■ Creative Cloud への投資を推進した要因

### 主な課題

Forrester は、5 つの組織の 7 人の意志決定者にインタビューを行い、Creative Cloud グループ版ライセンスを使用した経験を持つ 132 人の中小企業の従業員にインタビューしました。本調査に参加した組織に関する詳細は、[付録 B](#)をご覧ください。

Creative Cloud のアプリおよびサービスのライセンスを契約する前は、回答者の組織は InDesign や Photoshop などの汎用的な Adobe アプリケーションと、様々なサードパーティ製制作アプリを活用していました。

回答者は、アプリケーションおよび様々なライセンス契約の間の統合不足により、次のような課題が生じたと回答しました。

- **制作アプリのライセンスの見落とし。** 中小企業は、限られた数の制作アプリライセンスをスタッフに割り当てて業務を行っていました。従業員が制作に必要なアプリにアクセスできることを保証するため、プロジェクトにチームを割り当てる際にマネージャーの管理業務が増えていました。さらに、プロジェクトの請負業者に付与されたライセンスが、提携終了後に使途不明になることがありました。これらの課題から、マネージャーは、必要以上のライセンス契約をすることになり、多くのライセンスが未使用になっていました。

しかしながら、従業員が新しい制作アプリを学習することを好まなかったため、結果的には使い慣れた Adobe アプリが選ばれ、これらのアプリは多くの場合未使用になりました。

他の制作アプリが採用された場合も、ワークフローが断片化し、チームメンバーが他の制作アプリの使い方を学習する時間がかかり、制作に遅れが生じていました。アプリ間で転送されたファイルは圧縮あるいは再作成が必要なことも問題となっていました。

### 投資目的

回答者の組織は、次のような制作アプリのセットを求めていました：

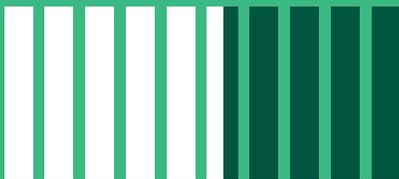
- プロジェクトの完成に必要な包括的なツールセットを従業員に提供する。
- 他のアプリケーションと統合し制作作業を合理化する。
- ライセンス管理に関する混乱を緩和する。

### モデル組織

インタビュー調査とアンケート調査に基づき、Forrester は TEI フレームワーク、モデル組織、ROI 分析を構築し、財政的に影響する領域を具体的に示しました。モデル組織とは Forrester がインタビューした 5 社およびアンケート調査の回答者 132 人を代表したもので、次のセクションで総合的な財務分析を示すために使用されます。モデル組織の詳細は以下のとおりです。

**モデル組織の説明。**モデル組織は、業界の枠を超えてグローバルに事業展開し、主としてリモートワーカーを擁する組織です。組織の年間売上は 2,500 万ドル (280 億円)、請負業者を含めた従業員は 200 人です。Creative Cloud グループ版の導入前、組織は個々の Creative Cloud アプリにライセンス料金を支払っていました。サードパーティ製の制作アプリも定期的に使用されていました。現在、組織は 40 の Creative Cloud グループ版ライセンスを契約しており、個々の Creative Cloud アプリあるいはサードパーティ製の制作アプリに対して料金は支払っていません。

## 投資前に使用されていたデザインおよびビジュアル化アプリの平均数 : 5.6



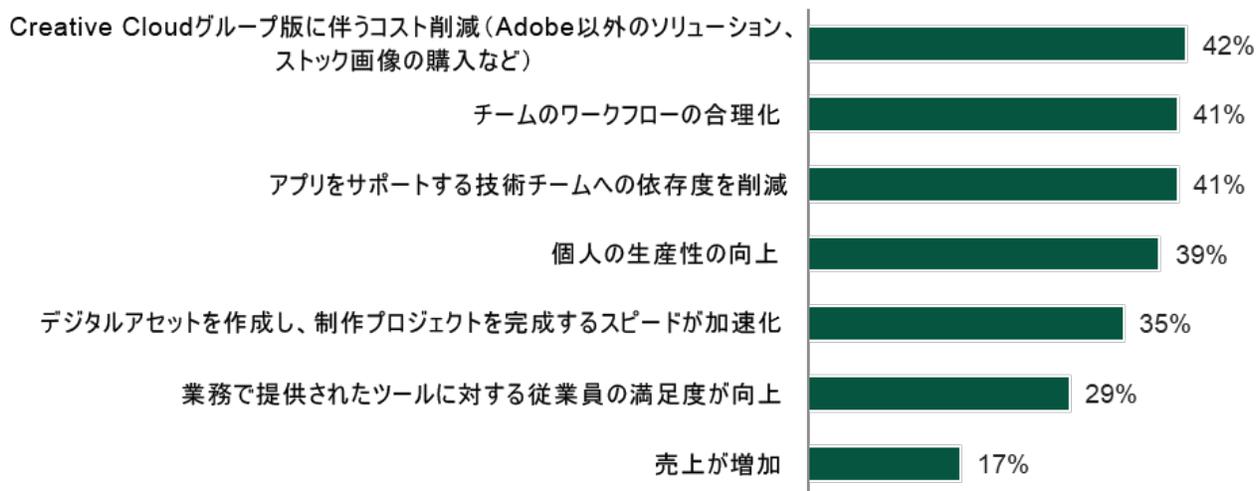
- **未統合の制作アプリによって増加した作業とサックコスト。** 組織は、経費削減の手段として様々なサードパーティ製制作アプリをプレミアム価格モデルで使用していました。

**導入の特徴。**組織は、直ちに従業員および請負業者にすべての製品を利用できる Creative Cloud グループ版ライセンスを割り当てています。従業員は、サードパーティ製アプリからの移行期間として、最初の数か月で、Adobe 以外の制作アプリで作成されたプロジェクトファイルを再フォーマットまたは再作成します。

モデル組織に対する主な前提条件

- 年間売上 2,500 万ドル (280 億円)
- 従業員 200 人
- 40 の Creative Cloud グループ版ライセンス

「以下のうち、法人向け Adobe Creative Cloud グループ版に投資した結果として組織が実現した利益はどれですか？」



調査対象：法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を使用する 132 人のユーザー  
 出典：2021 年 4 月に Adobe 社からの委託により Forrester Consulting が実施した調査

# 利益の分析

この組織に適用される定量的利益のデータ

| 総利益 |                                     |                            |                            |                            |                            |                            |
|-----|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 基準  | 利益                                  | 1 年目                       | 2 年目                       | 3 年目                       | 合計                         | 現在価値                       |
| Atr | Creative Cloud グループ版による管理効率         | \$18,360<br>(¥2,069,481)   | \$22,032<br>(¥2,483,377)   | \$22,032<br>(¥2,483,377)   | \$62,424<br>(¥7,036,236)   | \$51,452<br>(¥5,799,506)   |
| Btr | Creative Cloud グループ版による制作プロジェクトの生産性 | \$114,750<br>(¥12,934,257) | \$183,600<br>(¥20,694,812) | \$229,500<br>(¥25,868,515) | \$527,850<br>(¥59,497,584) | \$428,480<br>(¥48,296,912) |
| Ctr | Creative Cloud グループ版による事務効率         | \$49,725<br>(¥5,604,844)   | \$66,300<br>(¥7,473,126)   | \$66,300<br>(¥7,473,126)   | \$182,325<br>(¥20,551,098) | \$149,810<br>(¥16,886,109) |
|     | 総利益(リスク調整後)                         | \$182,835<br>(¥20,608,583) | \$271,932<br>(¥30,651,316) | \$317,832<br>(¥35,825,019) | \$772,599<br>(¥87,084,918) | \$629,742<br>(¥70,982,528) |

## CREATIVE CLOUD グループ版による管理効率

エビデンスとデータ。調査回答者は Creative Cloud グループ版を採用する前に平均 5.6 種類の Adobe 以外のデザインおよびビジュアル化ツールを使用していました。これらのアプリの各々に対して別途契約や管理ライセンスが必要であり、Adobe の制作アプリの個人用ライセンスのほかにも管理作業が発生していました。

各組織では、多くの制作者が働き、プロジェクトには様々な請負業者が参加するため、毎週制作者の事務管理に数時間以上が必要でした。Creative Cloud グループ版ライセンスングに移行することで、ユーザーフレンドリーなダッシュボードで単一のライセンスのみを管理し割り当てれば済むようになったため、事務管理の大部分が削減されました。

Adobe Creative Cloud グループ版では、自動的にユーザー宛てに更新がプッシュされ、統合ツールセットでスムーズな技術体験を促進します。IT チームは、もはや様々なサードパーティ製アプリによる潜在的な技術トラブルを回避するために制作ツールの統合にリソースを割り当てたりソフトウェアのダウンタイムを計画したりする必要がなくなりました。

「管理コンソールで”必要に応じて”ライセンス数を増減できるため、将来の業務のためにライセンスの割り当てを残しておく場合と比べてコストが予測可能になり、コスト削減につながりました。」  
マーケティング会社の IT 担当バイスプレジデント

「チームで Adobe Creative Cloud グループ版を使い始める前には、ダウンタイムが発生し、Adobe ソフトウェアの更新を確認する必要がありました。3 人で行う業務がある場合、多くの時間がかかります。」

ビデオゲーム会社の IT オペレーションおよびテクニカルマネージャー

IT チームは、更新および技術的なエラー監視を含むサードパーティ製アプリのメンテナンス業務から解放されました。法人向

回答者によれば、予想外の利点は、保守作業が最小限でライセンスをまとめて監視できるため、制作アプリの予算が、より予測可能になったということでした。予算の限られた中小企業にとっては、これは見逃せない利点です。

モデリングおよび前提条件。モデル組織に対し、Forrester は以下のように推定しました。

- 制作ディレクターは、従業員と請負業者の制作アプリのライセンス監視業務に 1 週間あたり約半日、年間 192 時間費やしています。
- 制作ディレクターの推定平均時給は 80 ドル(9,017 円)です。
- 正規の IT 従業員 (FTE) 1 人あたりが費やす制作アプリの統合およびメンテナンスの監視時間は、1 か月あたり 2 日間です。
- IT FTE の推定平均時給は 70 ドル(7,890 円)です。
- Creative Cloud グループ版の採用後、サードパーティ製アプリから移行する際にライセンスおよびアプリの管理業務で組織は 1 年目に 75%の効率を達成すると想定します。2 年目には、より多くのチームが Adobe のアプリを

利用するようになることで、効率は 90%に上昇します。

リスク。利益に影響を及ぼす可能性のある組織間の違いには、次の要因が含まれます。

- ライセンス管理や制作アプリのメンテナンスに割り当てられた作業時間。
- 従業員の時給は、組織の業種、地域および様々な属性によって異なります。

結果。これらのリスクを考慮し、Forrester はこの利益を 15% 下方修正し、リスク調整後の 3 年間の総額の PV(10%で割引)を 5 万 1,000 ドル(570 万円)としました。

### Creative Cloud グループ版による管理効率

| 基準                                   | 評価項目                                | 元データ       | 1 年目                                   | 2 年目                     | 3 年目                     |
|--------------------------------------|-------------------------------------|------------|--|--------------------------|--------------------------|
| A1                                   | 年間で制作アプリのライセンス管理に費やされる時間(時間)。       | 前提条件       | 192                                    | 192                      | 192                      |
| A2                                   | ライセンスを管理する制作ディレクター(FTE)の平均時給        | 前提条件       | \$80(¥9,017)                           | \$80(¥9,017)             | \$80(¥9,017)             |
| A3                                   | ライセンス管理コストの総額                       | A1*A2      | \$15,360<br>(¥1,731,330)               | \$15,360<br>(¥1,731,330) | \$15,360<br>(¥1,731,330) |
| A4                                   | 年間で制作アプリの統合およびメンテナンスに費やされる時間(時間)    | 前提条件       | 192                                    | 192                      | 192                      |
| A5                                   | IT FTE の平均時給                        | 前提条件       | \$70(¥7,890)                           | \$70(¥7,890)             | \$70(¥7,890)             |
| A6                                   | 統合およびメンテナンス管理コストの総額                 | A4*A5      | \$13,440<br>(¥1,514,914)               | \$13,440<br>(¥1,514,914) | \$13,440<br>(¥1,514,914) |
| A7                                   | Creative Cloud グループ版採用後の制作アプリの管理効率  | インタビュー調査   | 75%                                    | 90%                      | 90%                      |
| At                                   | Creative Cloud グループ版による管理効率         | (A3+A6)*A7 | \$21,600<br>(¥2,434,683)               | \$25,920<br>(¥2,921,620) | \$25,920<br>(¥2,921,620) |
|                                      | リスク調整                               | ↓15%       |  |                          |                          |
| Atr                                  | Creative Cloud グループ版による管理効率(リスク調整後) |            | \$18,360<br>(¥2,069,481)               | \$22,032<br>(¥2,483,377) | \$22,032<br>(¥2,483,377) |
| <b>3 年間の合計: \$62,424(¥7,036,236)</b> |                                     |            | <b>3 年間の現在価値: \$51,452(¥5,799,506)</b> |                          |                          |

**CREATIVE CLOUD グループ版による制作業務の生産性エビデンスとデータ。** 回答者は、Creative Cloud グループ版を活用することで制作チームの生産性と成果物の品質が向上したと報告しました。ツールの主な機能は変わらなかったものの、追加機能が使用体験を強化しました。

クラウドストレージとツールの使用をすべて Creative Cloud グループ版内にまとめることで、ユーザーはアプリおよびデバイスの枠を超えてシームレスにプロジェクトを継続することができました。アセットまたはファイルは Creative Cloud Libraries に保存され、各自が以前からのクリエイティブな取り組みを積み上げてデリバリーを加速することができます。一方、他のユーザーから割り当てられた未使用のストレージも利用できます。Adobe Stock へのアクセスで、使用するイメージを素材から検索し承認する時間が短縮されました。

**「プロダクトの全スイートにアクセスし、異なるアプリ間をシームレスに切り換えられます。これらのツールは、制作者の共同作業の基準となっており、会社にとって大きな利益です。」**

マーケティング会社の制作ディレクター

これらのリソースは、リモートワークが増加する際に制作者の成果物の質を維持する上で特に有用でした。アセットの共有ライブラリは、プロジェクトに後から参加した制作者が同じファイルへアクセスする手順を見失うことがなかったため、新たに加わった従業員やメンバーが迅速にプロジェクトをサポートする際にも役立ちました。アンケート調査によると、個人では毎週 2.9 時間の時間を節約しました。

チームでは、共有アセットおよびファイルを利用することで、制作者がリアルタイムで繰り返す際にコラボレーションが促進され、より生産的なレビューサイクルが確立されました。チームプロセスは合理化され、個人がチェックポイントで共同作業を行うため、電子メールやコメントの数が減りました。アンケート調査によると、チームワークで節約できた時間は毎週 3.6 時間に増加しました。従業員の時間が解放されたので、追加のプロジェ

クトを引き受け、追加対応を要したプロジェクトに注力することができました。

個人の時間節約

**2.9 時間**

チームの時間節約

**3.6 時間**

レイアウトの作成と見直しが行われる Adobe InDesign のようなアプリでは、統合による利点は非常に重要でした。アンケート調査によると、リアルタイムのファイル共同作業(64%)、ファイルの共有ハブを持つこと(59%)、ファイルのコメント収集(58%)が、統合による主な使用例として挙げられました。従業員は Creative Cloud のアプリおよびサービスをより効果的に使用することができました。

**モデリングおよび前提条件。** モデル組織に対し、Forrester は以下のように推定しました。

- 1年で300件あるいは毎月25件の制作プロジェクトを請け負っています。平均で、各プロジェクトに8人の制作者が割り当てられ、制作に20時間を要します。
- Creative Cloud ライセンスを利用することでユーザーの生産性は1年目に5%増加します。ユーザーがサードパーティ製アプリから移行することで、生産性は8%増加します。Creative Cloud アプリの使用に伴うユーザーのベストプラクティスの習得と定型化で、3年目に10%の生産性向上を達成します。
- 従業員と請負業者を含む、制作者の平均時給は75ドル(8,453円)です。
- 節約された時間のうち、75%が別の作業にあてられ、25%は休憩時間の延長や、深夜および週末の残業削減のために使われました。

**リスク。** 利益に影響を及ぼす可能性のある組織間の違いには、次の要因が含まれます。

会社が毎年引き受けるプロジェクトの数、プロジェクトに割り当てる制作者の数、およびプロジェクトにかかる時間。

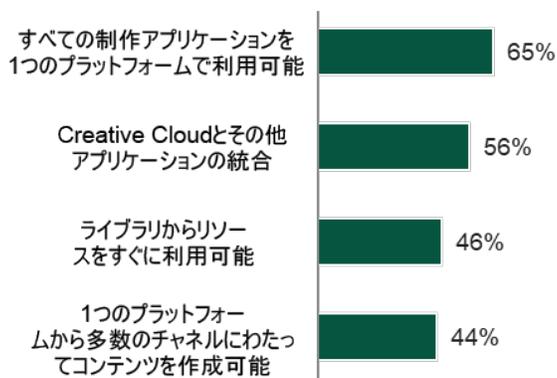
- 時給は、従業員の勤続年数や請負業者の有無によって異なります。

**結果。**これらのリスクを考慮するために、Forresterはこの利益を15%下方修正し、リスク調整後の3年間の現在価値(PV)を42万8,000ドル(4,824万円)としました。

### Creative Cloud グループ版による制作プロジェクトの生産性

| 基準                                    | 評価項目  | 元データ        | 1年目                                     | 2年目                        | 3年目                        |
|---------------------------------------|---|-------------|---|----------------------------|----------------------------|
| B1                                    | 1年間の制作プロジェクトの数                              | 前提条件        | 300                                     | 300                        | 300                        |
| B2                                    | 各プロジェクトで作業を行う制作者の平均人数                       | 前提条件        | 8                                       | 8                          | 8                          |
| B3                                    | 各プロジェクトの制作者の平均作業時間(時間)。                     | 前提条件        | 20                                      | 20                         | 20                         |
| B4                                    | 1年間で制作業務に費やされた時間                            | B1*B2*B3    | 48,000                                  | 48,000                     | 48,000                     |
| B5                                    | Adobe Creative Cloudで実現された生産性               | アンケート調査     | 5%                                      | 8%                         | 10%                        |
| B6                                    | プロジェクトに携わる制作者の平均総合時給                        | 前提条件        | \$75(¥8,453)                            | \$75(¥8,453)               | \$75(¥8,453)               |
| B7                                    | 生産性の回復率                                     | 前提条件        | 75%                                     | 75%                        | 75%                        |
| Bt                                    | Creative Cloud グループ版による制作プロジェクトの生産性         | B4*B5*B6*B7 | \$135,000<br>(¥15,216,773)              | \$216,000<br>(¥24,346,837) | \$270,000<br>(¥30,433,547) |
|                                       | リスク調整                                       | ↓15%        |   |                            |                            |
| Btr                                   | Creative Cloud グループ版による制作プロジェクトの生産性(リスク調整後) |             | \$114,750<br>(¥12,934,257)              | \$183,600<br>(¥20,694,812) | \$229,500<br>(¥25,868,515) |
| <b>3年間の合計: \$527,850(¥59,497,584)</b> |   |             | <b>3年間の現在価値: \$428,480(¥48,296,912)</b> |                            |                            |

「法人向けAdobe Creative Cloudグループ版が個人の生産性向上を支援したと回答されました。どの要因がこれらの収益に役立ったかご回答ください。」



調査対象: 法人向けAdobe Creative Cloudグループ版を使用する52人のユーザー

「法人向けAdobe Creative Cloudグループ版がチームのワークフロー合理化を支援したと回答されました。どの要因がこれらの利点に役立ったかご回答ください。」



調査対象: 法人向けAdobe Creative Cloudグループ版を使用する54人のユーザー

出典: 2021年4月にAdobe社からの委託によりForrester Consultingが実施した中小企業向けCreative Cloudグループ版に関する調査

## CREATIVE CLOUD グループ版による事務効率

エビデンスとデータ。サードパーティ製制作アプリの使用を止めたことで、これらのアプリの使用に伴う作業がなくなりました。

Adobe の制作アプリで最も大きな利点のうちの 1 つは、制作アプリ間でのファイルの移行作業でした。ファイル移行作業は、圧縮ファイルの再フォーマットから、前のアプリでカラーやデザインが保存されないファイルの再作成にまで及び、作業にとつて頭痛の種でした。Adobe の統合ツールセットを使うことで、制作者はこの問題に対処する必要がなくなりました。

単一の制作ソリューションを使用することで、サードパーティ製制作アプリの使用法を習得する時間が短縮されるため、効率が向上しました。時折、プロジェクトで作業を行う個人が、使い慣れた別のサードパーティ製アプリを使用することもあります。他の制作者が参加した場合は、アプリの使い方を説明する必要があるため、制作スケジュールの遅れにつながりました。

さらに、回答者は生産性が向上するかどうか確かめるために新しい制作アプリケーションも試みたと回答しています。これらのパイロットでは、小人数のチームが 1 か月間かけてアプリを習得し実用化します。ほとんどの場合アプリの学習に時間がかかり、結局は既に使用していたものに戻りました。

組織は他のアプリのサンクコストや時間を回避することで、Creative Cloud グループ版のベストプラクティスおよび習熟に集中することができ、組織でより強力な成果を出すことができました。

**モデリングおよび前提条件。**モデル組織に対し、Forrester は以下のように推定しました。

- 40 人の制作者が Creative Cloud グループ版のアクセス権を持ち、統合されていないアプリの作業に 1 週間当たり平均 30 分を費やしています。

- 定期的に使用したサードパーティ製制作アプリから制作者が移行することで、これらの非効率性は 1 年目に 75%削減されます。2 年目には、制作プロジェクトで主として Adobe アプリを使用するようになり、非効率性が 100%削減されます。
- 従業員と請負業者を含む、制作者の平均時給は 75 ドル(8,453 円)です。

「サードパーティ製アプリもいくつか使用しましたが、社内でユーザーに利用されることは、ほぼありませんでした。

例えば Photoshop など長年使用してきたツールがあったため、別のツールを使い始めようとすると、進捗が遅れチームの効率が失われ、時間がかかりました。」

マーケティング会社の IT 担当バイスプレジデント

**リスク。**利益に影響を及ぼす可能性のある組織間の違いには、次の要因が含まれます。

- 組織が得られる利点は、以前に使用していた Adobe 以外のアプリやプロジェクトに関わる従業員の数によって異なります。
- 時給は、従業員の勤続年数や請負業者の有無によって異なります。

**結果。**これらのリスクを考慮するために、Forrester はこの利益を 15%下方修正し、リスク調整後の 3 年間の現在価値 (PV)を 15 万ドル(1,690 万円)としました。

### Creative Cloud グループ版による事務効率

| 基準                                     | 評価項目                                 | 元データ       | 1 年目                                     | 2 年目                     | 3 年目                     |
|--|--------------------------------------|------------|--|--------------------------|--------------------------|
| C1                                     | Creative Cloud グループ版ライセンスを利用する制作者の人数 | 前提条件       | 40                                       | 40                       | 40                       |
| C2                                     | 統合されていないアプリのために 1 週間あたり費やされる時間平均(時間) | インタビュー調査   | 0.5                                      | 0.5                      | 0.5                      |
| C3                                     | 統合されていないアプリのために 1 年間に費やされる時間平均       | A1*A2*52 週 | 1,040                                    | 1,040                    | 1,040                    |
| C4                                     | 統合されていない制作アプリの使用に関する効率改善             | インタビュー調査   | 75%                                      | 100%                     | 100%                     |
| C5                                     | プロジェクトに携わる制作者の総合平均時給                 | B6         | \$75(¥8,453)                             | \$75(¥8,453)             | \$75(¥8,453)             |
| Ct                                     | Creative Cloud グループ版による事務効率          | C3*C4*C5   | \$58,500<br>(¥6,593,935)                 | \$78,000<br>(¥8,791,913) | \$78,000<br>(¥8,791,913) |
|  | リスク調整                                | ↓15%       |  |                          |                          |
| Ctr                                    | Creative Cloud グループ版による事務効率(リスク調整後)  |            | \$49,725<br>(¥5,604,844)                 | \$66,300<br>(¥7,473,126) | \$66,300<br>(¥7,473,126) |
| <b>3 年間の合計: \$182,325(¥20,551,098)</b> |                                      |            | <b>3 年間の現在価値: \$149,810(¥16,886,109)</b> |                          |                          |

## 非定量的利益

顧客が体験したものの、定量化できなかった以下のような利益も顧客企業は得ています。

- **従業員体験の向上。** Creative Cloud グループ版に投資する前、意志決定者は、会社が準備したさまざまなツールの不整合に関して従業員から苦情を受けていました。多くの従業員が大学を卒業したばかりだったり既に Creative Cloud グループ版ライセンスを保有する大企業から転職してきたので、ツールの機能を業務で完全に利用できることを期待していました。当社が Creative Cloud グループ版のユーザーに対して行った調査によれば、84%は、評判の良い制作ツールを業務で利用できることが重要であると回答しました。

Creative Cloud グループ版の採用後、従業員は、投資の重要性を認識しました。調査回答者の 97%は、ツールの採用は、組織が制作チームを支援する意思を示していると回答しました。回答者の組織の従業員はより高品質のコンテンツを制作でき、ツールに関する苦情が減ったと回答しました。

- **Creative Cloud による安全なリモートワーク。** リモートワークの従業員にとって、クラウドストレージからファイルへアクセスすることは容易で安全でした。ファイルは、クラウドに安全に保存され、サードパーティ製アプリ間で転送するファイルが減り、リスクも緩和されました。組織は Creative Cloud グループ版で制作者の成果物の品質水準を維持し、リモートの請負業者や従業員のオンボーディングを増加させました。

「これまでソフトウェアは会社のサーバー上にありましたが、サーバーに不慮の事態が起きたらどうすればよいか、という問題に直面していました。手動で再起動する必要がある場合 — 私たちにとっては大きな問題です。

クラウドストレージを持つことは、オンプレミスのソフトウェアより活用が非常に簡単でした。」

アニメーション会社のエグゼクティブ制作ディレクター

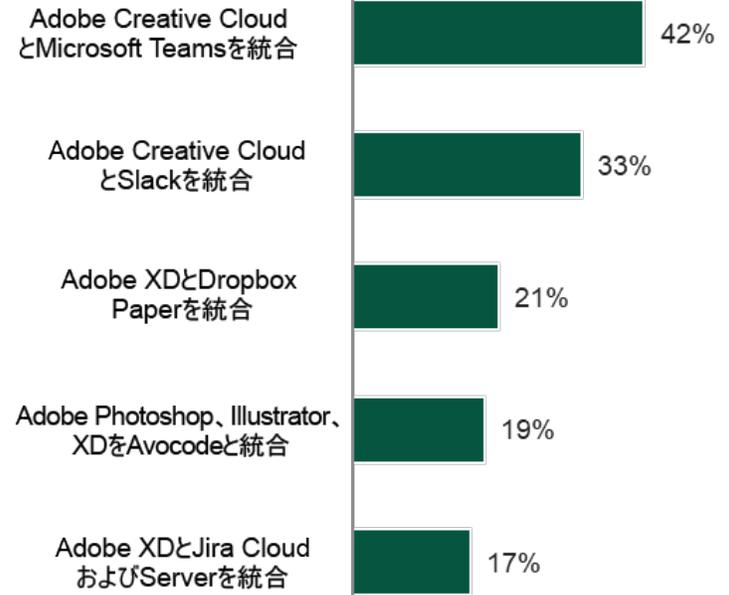
## 柔軟性

柔軟性の価値は顧客ごとに異なります。顧客が Creative Cloud を導入するシナリオは、次のように複数存在し、追加の使用やビジネスチャンスが後から実現される場合もあります。

- ユーザーによる様々なアプリの学習と活用。**回答者は、従業員がすべての Creative Cloud アプリにアクセスでき、様々な Adobe アプリを使えるようになったことで、スキル拡張が促進されたと述べました。例えば、Dreamweaver や XD のようなツールで、プロフェッショナルな制作者が、ウェブサイトやユーザー体験を構築する方法をそれぞれ学習できるようになりました。回答者は、作業を合理化するために、アプリを他のサードパーティ製プラットフォームに統合する計画があるとも述べています。Creative Cloud アプリの実験および統合によって、モバイルデバイス全般でアプリの可用性が増加しただけでなく、労働者の時間が最大限に活用されました。

柔軟性は、特定のプロジェクトの一環として評価することで定量化できます（[付録 A](#) に詳細を記載）。

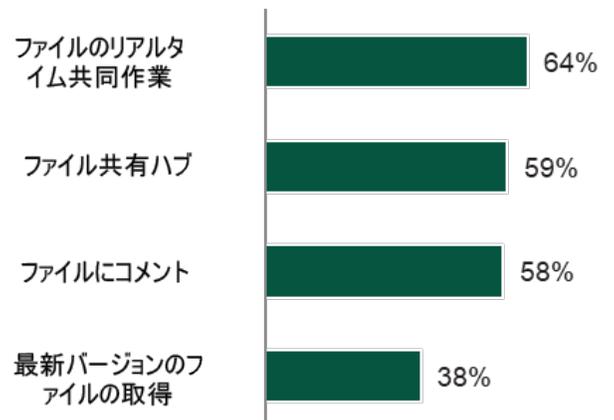
「あなたの組織では、法人向け Adobe Creative Cloud グループ版のアプリケーションと他のソリューションと一緒に活用していますか？その場合、どの機能を活用していますか？」



調査対象：法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を使用する 132 人のユーザー

出典：2021 年 4 月に Adobe 社からの委託により Forrester Consulting が実施した調査  
 出典：2021 年 4 月に Adobe 社からの委託により Forrester Consulting が実施した調査

「法人向け Adobe Creative Cloud グループ版ソリューションとアプリを統合していると回答されました。その統合の活用例を教えてください。」



調査対象：法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を使用する 85 人のユーザー

出典：2021 年 4 月に Adobe 社からの委託により Forrester Consulting が実施した調査

## コストの分析

■ この組織に適用される定量的コストのデータ

| 総コスト |                                    |         |                          |                          |                          |                            |                            |
|------|------------------------------------|---------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 基準   | コスト                                | 初期      | 1年目                      | 2年目                      | 3年目                      | 合計                         | 現在価値                       |
| Dtr  | Creative Cloud グループ版ライセンス料金        | \$0(¥0) | \$39,816<br>(¥4,487,933) | \$39,816<br>(¥4,487,933) | \$39,816<br>(¥4,487,933) | \$119,448<br>(¥13,463,801) | \$99,016<br>(¥11,160,770)  |
| Etr  | Creative Cloud グループ版へのファイル変換/移行コスト | \$0(¥0) | \$33,000<br>(¥3,719,655) | \$0(¥0)                  | \$0(¥0)                  | \$33,000<br>(¥3,719,655)   | \$30,000<br>(¥3,381,505)   |
|      | 総コスト<br>(リスク調整後)                   | \$0(¥0) | \$72,816<br>(¥8,207,589) | \$39,816<br>(¥4,487,933) | \$39,816<br>(¥4,487,933) | \$152,448<br>(¥17,183,456) | \$129,016<br>(¥14,542,275) |

### CREATIVE CLOUD グループ版ライセンス料金

エビデンスとデータ。組織はユーザー人数分の Creative Cloud グループ版ライセンス料金を支払っています。すべてのビジネスアプリのライセンスの平均コストは、1か月当たり79ドル(8,900円)です。モデル組織では、40ライセンス分の料金を支払い、従業員と請負業者の間で共有します。

結果。Forrester は、これらのリスク変動を考慮するために、このコストを5%上方修正し、リスク調整後の3年間の総現在価値(PV)(10%で割引)を9万9,000ドル(1,100万円)としました。

### Creative Cloud グループ版ライセンス料金

| 基準                             | 評価項目   | 元データ       | 初期                              | 1年目                      | 2年目                      | 3年目                      |
|--------------------------------|--|------------|---------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| D1                             | Creative Cloud グループ版ライセンスの数                    | 前提条件       | 0                               | 40                       | 40                       | 40                       |
| D2                             | 20以上のCreative Cloud アプリすべてにアクセスするためのライセンスの月額料金 | インタビュー調査   | \$0(¥0)                         | \$79(¥8,904)             | \$79(¥8,904)             | \$79(¥8,904)             |
| Dt                             | Creative Cloud グループ版ライセンス料金                    | D1*D2*12か月 | \$0(¥0)                         | \$37,920<br>(¥4,274,222) | \$37,920<br>(¥4,274,222) | \$37,920<br>(¥4,274,222) |
|                                | リスク調整  | ↑5%        |                                 |                          |                          |                          |
| Dtr                            | Creative Cloud グループ版ライセンス料金<br>(リスク調整後)        |            | \$0(¥0)                         | \$39,816<br>(¥4,487,933) | \$39,816<br>(¥4,487,933) | \$39,816<br>(¥4,487,933) |
| 3年間の合計: \$119,448(¥13,463,801) |  |            | 3年間の現在価値: \$99,016(¥11,160,770) |                          |                          |                          |

### CREATIVE CLOUD グループ版へのファイル変換/移行コスト

**エビデンスとデータ。** Creative Cloud グループ版ライセンスを採用した後、制作チームは Adobe 以外のアプリから Creative Cloud アプリへファイルを変換して移行する必要がありました。作業量は、引き継ぐファイルの量とファイルに必要な作業（ファイルの再フォーマット、デザイン再作成など）によって異なりました。回答者は、移行作業には数人の従業員で 1 週間以上かかり、完了後はアセットを完全に再使用できたと回答しました。

**モデリングおよび前提条件。** モデル組織に対し、Forrester は以下のように推定しました。

- 10 人の従業員がアセットとファイルの移行作業に従事し、各々がプロジェクトに費やす時間は 40 時間です。
- 制作業務に携わる従業員の推定時給は 75 ドル (8,453 円) です。

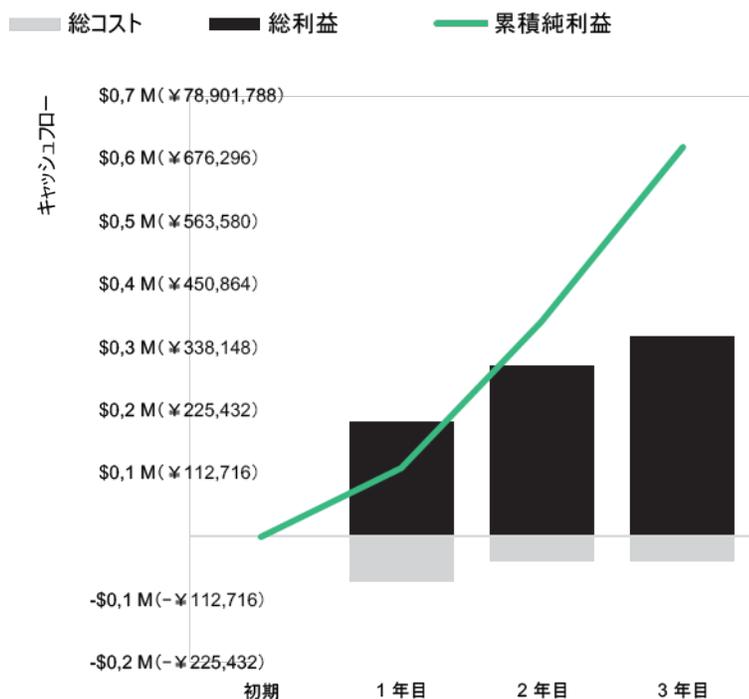
**結果。** Forrester は、これらのリスク変動を考慮するために、このコストを 10% 上方修正し、リスク調整後の 3 年間の総現在価値(PV) (割引 10%) を 3 万ドル (338 万円) としました。

| Creative Cloud グループ版へのファイル変換/移行コスト    |  |                          |   |                          |         |         |
|---------------------------------------|--|--------------------------|---|--------------------------|---------|---------|
| 基準                                    | 評価項目                                       | 元データ                     | 初期                                      | 1 年目                     | 2 年目    | 3 年目    |
| E1                                    | アセットとファイルの移行作業を行う従業員の数                     | インタビュー調査                 | 0                                       | 10                       | 0       | 0       |
| E2                                    | 各従業員が費やした時間(時間)                            | インタビュー調査                 | 0                                       | 40                       | 0       | 0       |
| E3                                    | 制作者の平均時給                                   | 前提条件                     | \$0(¥0)                                 | \$75(¥8,453)             | \$0(¥0) | \$0(¥0) |
| Et                                    | Creative Cloud グループ版へのファイル変換/移行コスト         | $E1 \times E2 \times E3$ | \$0(¥0)                                 | \$30,000<br>(¥3,381,505) | \$0(¥0) | \$0(¥0) |
|                                       | リスク調整                                      | ↑10%                     |   |                          |         |         |
| Etr                                   | Creative Cloud グループ版へのファイル変換/移行コスト(リスク調整後) |                          | \$0(¥0)                                 | \$33,000<br>(¥3,719,655) | \$0(¥0) | \$0(¥0) |
| <b>3 年間の合計: \$33,000 (¥3,719,655)</b> |  |                          | <b>3 年間の現在価値: \$30,000 (¥3,381,505)</b> |                          |         |         |

# 財務概要

## リスク調整後の3年連結評価

### キャッシュフローチャート(リスク調整後)



「利益」と「コスト」のセクションで計算された経済的影響を使用して、このモデル組織の投資に対するROI、NPVおよび回収期間を決定できます。Forresterは、この分析で年10%の割引率を想定しています。

これらのリスク調整済みのROI、NPV、回収期間の値は、「利益」と「コスト」の各セクションの未調整結果にリスク調整因子を適用することで決定されます。

### キャッシュフロー分析 (リスク調整後推定)

|             | 初期      | 1年目                        | 2年目                        | 3年目                        | 合計                           | 現在価値                         |
|-------------|---------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 総コスト        | \$0(¥0) | -\$72,816<br>(-¥8,207,589) | -\$39,816<br>(-¥4,487,933) | -\$39,816<br>(-¥4,487,933) | -\$152,448<br>(-¥17,183,456) | -\$129,016<br>(-¥14,542,275) |
| 総利益         | \$0(¥0) | \$182,835<br>(¥20,608,583) | \$271,932<br>(¥30,651,316) | \$317,832<br>(¥35,825,019) | \$772,599<br>(¥87,084,918)   | \$629,742<br>(¥70,982,528)   |
| 純利益         | \$0(¥0) | \$110,019<br>(¥12,400,994) | \$232,116<br>(¥26,163,382) | \$278,016<br>(¥31,337,085) | \$620,151<br>(¥69,901,461)   | \$500,726<br>(¥56,440,252)   |
| 投資収益率 (ROI) |         |                            |                            |                            |                              | 388%                         |

## 付録 A: Total Economic Impact

Total Economic Impact は、Forrester Research が開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値をお客様に提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やほかのビジネス上の主要な利害関係者に対して、IT イニシアチブの具体的な価値を実証し、正当化し、実現に役立てることができます。

### TOTAL ECONOMIC IMPACT 手法

**利益**とは、製品がビジネスにもたらす価値のことです。TEI 手法では、利益の測定とコストの測定に同じ重みを与えることで、組織全体に与える技術の恩恵を徹底的に評価することが可能になります。

**コスト**では、提案されている製品の価値または製品の利益をもたらすために必要なすべての支出が考慮されます。TEI でのコスト区分には、ソリューションに関連して継続的に発生するコストに対する既存環境上の増分コストが含まれます。

**柔軟性**とは、既に行われた初期投資の上に構築される、将来の追加投資で取得できる戦略的価値のことです。その利益を享受できる能力があるということは、見積り可能な PV (現在価値)があることを意味します。

**リスク**とは、利益とコストの見積りみの不確かさを測定したもので、1) 見積りみが初期の予想に見合う可能性と、2) 時間の経過と共に見積りみが追跡される可能性が考慮されます。TEI ではリスク因子は「三角分布」に基づいています。

初期投資の欄には、「時間 0」、すなわち 1 年目の始まりに発生するコストが記載されます。これらのコストには割引率は適用されません。その他すべてのキャッシュフローには、年末の割引率が適用されます。現在価値 (PV) は、それぞれの総コストおよび利益の見積りに対して計算されます。サマリーテーブルの正味現在価値 (NPV) は、初期投資と各年の割引後のキャッシュフローの合計になります。総利益、総コスト、キャッシュフローの各表の合計金額および現在価値については、四捨五入のため合計値が合わないことがあります。



### 現在価値 (PV)

特定の利率 (割引率) を使用した場合の (割引後の) コストおよび利益見積りみの現在価値。コストおよび利益の現在価値 (PV) は、キャッシュフローの総正味現在価値 (NPV) に適用されます。



### 正味現在価値 (NPV)

特定の利率 (割引率) を使用した場合の (割引後の) 将来の正味キャッシュフローの現在価値。プロジェクトの正味現在価値 (NPV) の値が正であれば、他のプロジェクトの NPV がそれより高くない限り、通常は投資すべきであると考えられます。



### 投資収益率 (ROI)

パーセンテージで表したプロジェクトの期待利益。ROI は、純利益 (粗利益からコストを引いた値) をコストで割ることによって求められます。



### 割引率

資産の時間的価値を考慮するために、キャッシュフロー分析で使用される利率。通常、企業は 8% ~ 16% の割引率を使用します。



### 回収期間

投資の損益分岐点です。これは純利益 (粗利益からコストを引いたもの) が初期投資またはコストに見合うタイミングです。

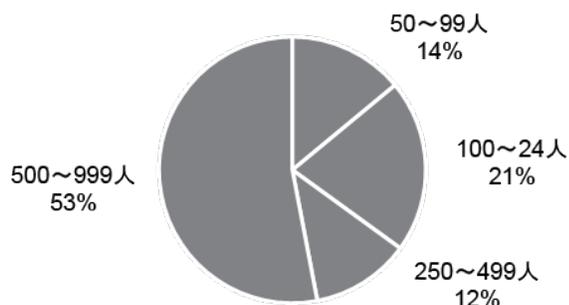
## 付録 B: インタビュー調査およびアンケート調査の統計データ

### インタビューと調査回答者の内訳

| インタビュー対象者                  | 業種        | 従業員数(請負業者を含む) | 主に使用する Adobe Creative Cloud アプリケーション                                |
|----------------------------|-----------|---------------|---|
| IT 担当バイスプレジデント             | マーケティング   | 350 以上        | Adobe Dreamweaver、Adobe Photoshop                                   |
| 制作ディレクター、財務責任者             | マーケティング   | 225 以上        | Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Photoshop、Adobe XD           |
| アシスタント制作ディレクター、アカウントディレクター | マーケティング   | 該当なし          | Adobe Illustrator、Adobe Photoshop                                   |
| IT 運用および技術サポートマネージャー       | ビデオゲーム会社  | 200 以上        | Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Photoshop、Adobe Premiere Pro |
| エグゼクティブ制作ディレクター            | アニメーション会社 | 50 以上         | Adobe After Effects   |

### アンケート調査の統計データ

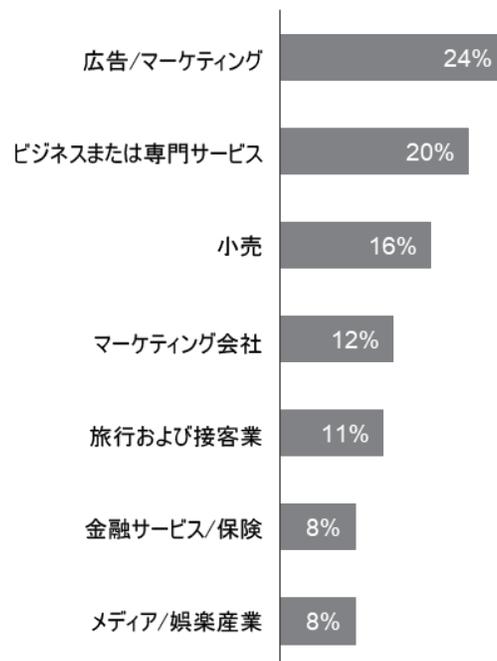
「貴社/組織の全世界の従業員数はおよそ何人ですか？」



「あなたの組織内での役職を教えてください」

- 35% ディレクター（マネージャーおよび上級レベルのスタッフを管理）
- 52% マネージャー（マーケティングおよび分析チームを管理）
- 11% 製品オーナー（製品チームの責任者）
- 3% ビジュアル・デザイン（チーム内または個人で制作に従事）

「貴社の業界は次のうちどれに最も当てはまりますか？」



「組織の所在地（国）をお選びください。」

- 42% 米国
- 16% 日本
- 14% 英国
- 11% フランス
- 9% ドイツ
- 8% カナダ

調査対象：法人向け Adobe Creative Cloud グループ版を使用する 132 人のユーザー  
 注：値を四捨五入しているため合計が 100% にならない場合があります。  
 出典：2021 年 4 月に Adobe 社からの委託により Forrester Consulting が実施した調査

## 付録 C:注釈

<sup>1</sup> 出典:“The Design Industry, 2021,” Forrester Research, Inc. 2021 年 3 月 18 日

<sup>2</sup> Total Economic Impact は、Forrester Research が開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値をお客様に提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やほかのビジネス上の主要な利害関係者に対して、IT イニシアチブの具体的な価値を実証し、正当化し、実現に役立てることができます。

FORRESTER®